

目次

- 2 編集方針
- 3 会社概要
- 4 事業紹介
- 6 宝酒造の歴史
- 7 トップメッセージ
企業理念／行動規準
- 9 経営方針／コーポレート・ガバナンス
- 10 コンプライアンス、危機管理体制

特集

- 11 ～宝焼酎「純」のふるさとを訪ねて～
「黒壁蔵」

お客様の「いきいき」のために

- 15 安全でおいしい商品をお届けします
- 17 お客様の健康を考えます
- 19 お客様とともに環境を守ります
- 21 お客様と対話します

パートナーとともに

- 23 「いきいき」とした市場、売り場、
地域づくりを推進します

社員の「いきいき」のために

- 25 やる気の出る職場づくりをすすめます
- 27 安心して働ける環境を整えます

社会の「いきいき」のために

- 29 NPOと協力してエコな輪を広げます
- 31 「お米とお酒の学校」とそのほかの社会
貢献活動

地球の「いきいき」のために

- 33 緑字決算を公表します
- 35 2005年度の目標と実績
- 37 一人ひとりが活動を推進します
- 39 環境コミュニケーションを推進します
- 41 環境活動を支える仕組み

- 42 第三者意見

3人の
レポーターが
「黒壁蔵」を見学



P11

「お客様相談室」
ホームページ開設
P21

「いきいき実践研修」
スタート！
P25


2005年度の
緑字決算は
0 ECO!
ゼロ P33

編集方針

「緑字企業報告書2006」は、宝酒造のCSR(企業の社会的責任)に関する取り組みを、ステークホルダー(利害関係者)の皆様にご覧いただきやすく報告することをめざして発行しています。


- 対象組織:宝酒造株式会社単体の活動やデータを中心に報告しています。ただし、一部TaKaRaグループ企業の活動やデータを含みます。グループ企業を含むデータ部分については企業名を記載しています。
- 対象期間:2005年4月1日～2006年3月31日
※上記の期間以外は年度を記載しています
- 参考にしたガイドライン:環境省「環境報告書ガイドライン2003」、GRI*「持続可能性報告のガイドライン2002」を参考に作成しています。
※GRI(Global Reporting Initiative)
環境面だけでなく社会、経済面も含めた報告書の世界的なガイドラインを作成している国際団体
- 編集体制:以下のメンバーで編集いたしました。
・環境統括会議(宝ホールディングス(株)・宝酒造(株)役員、グループ会社社長 計12名)
・編集委員会(CSR推進部門、広報部門、IR部門、経営企画部門、総務・人事部門、営業部門、商品開発・宣伝部門、購買・製造部門、品質保証部門、お客様相談部門、環境部門 計15名)
・編集責任者:大豊 規至(環境広報部 課長)
- 発行責任者:井野 拓磨(常務取締役 環境広報部長)
- 発行時期:2006年9月発行
(前回2005年8月、次回2007年8月発行予定)

詳細情報はホームページに掲載しています

本報告書に  マークを記載している情報につきましては、下記のアドレスからすべてご覧いただけます。また、本報告書の内容はホームページでも公開しており、最新版だけでなく過去の報告書もご覧いただけます。

<http://www.takarashuzo.co.jp/green/>

 1～10・・・工場別報告などの詳細資料

 A～N・・・IR情報などの参照ページ

- 宝酒造の環境への取り組みにつきましては下記のアドレスをご参照ください。
<http://www.takarashuzo.co.jp/environment/>

財務情報について

財務情報の詳細につきましては、宝ホールディングス株式会社のアニュアルレポートをご覧ください。

なお、宝ホールディングスのホームページではアニュアルレポートだけでなく、決算短信、事業報告書、有価証券報告書などの情報もご覧いただけます。

 A:IR情報



アニュアルレポート



事業報告書

お問い合わせ先:宝酒造株式会社 環境広報部
〒600-8688 京都市下京区四条通烏丸東入
TEL:075-241-5186 FAX:075-241-5126